平成30年（2018年）７月発行

平成30年（2018年） 夏号

# 大津・南部の農業

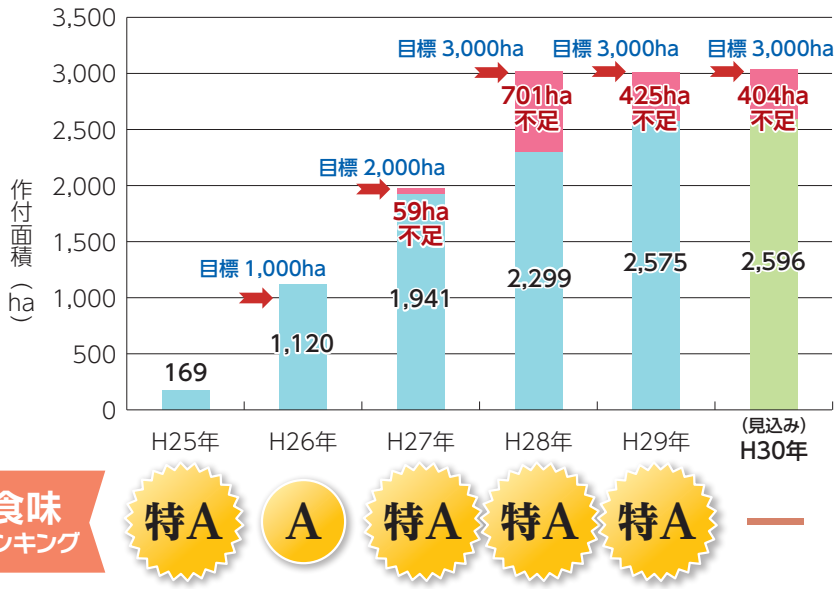
●発行●
滋賀県大津・南部農業農村振興事務所農産普及課
草津市草津三丁目14-75
TEL 077-567-5421～5423
FAX 077-562-8144
メールアドレス
ga35@pref.shiga.lg.jp
Facebook
https://www.facebook.com/facetoagri.o.n/
発行責任者 榎木 秀和

この印刷物は古紙パルプを配合しています

## みずかがみ 3年連続、特A取得！

### 販売好調!! でも、供給が追いついてない…

「みずかがみ」の作付推移（県全体）



滋賀県では、県育成品種「みずかがみ」を、平成25年の作付開始以降、農業者の方々や、集荷業者、行政など関係機関の皆さまと一体となって、品質向上と安定生産に向けた取組を進めてきました。

その結果、(一財)日本穀物検定協会による評価において、３年連続（H27 ～ 29年産米）「特Ａ」を取得することができました。

これに伴い、流通業者の方々からの評価も上がり、需要の高まりとともに生産者価格も「コシヒカリ」に近い水準にまで上昇しています。

しかし、現状では作付面積の拡大が追いついておらず、このまま注文に応えられない状態が続けば、せっかく手に入れた「攻め（＝所得向上）のチャンス」を逃しかねません。

まだ、「みずかがみ」を作付けされたことがない、農家の皆さん！

「みずかがみ」は高温条件に強く、美しい外観品質と極良食味が自慢の本県育成の早生品種です。

この看板(右上の写真)を目印に、お近くの田んぼの「みずかがみ」をご覧いただき、是非とも次年度の作付けをお願いします！

# 「近江のキャベツ」を栽培しませんか

平成27年より、大津・南部管内の５市４JAなどの関係機関と当課が連携して、「近江のキャベツ」の作付けを推進しており、面積は拡大傾向にあります。

栽培品目の一つとして、主に秋冬期に収穫する「近江のキャベツ」の栽培を始めてみませんか？

## 1 「近江のキャベツ」とは…

❶環境こだわり基準で栽培したもの

❷大津・南部管内５市４JAによる連携のもと、共通の出荷箱で市場へ出荷したもの

環境こだわり農産物®
農薬・化学肥料
通常の5割以下
びわ湖にやさしい
滋賀県認証

出荷箱

## 2 品種と主な作型

「藍天（らんてん）」７月下旬定植　⇒10月上旬収穫
「彩音（あやね）」８月中下旬定植　⇒11月下旬～ 12月収穫
「夢ごろも」９月上旬定植　⇒１月中旬～３月中旬収穫
品種の組合せにより長期・安定出荷を目指しています。

キャベツほ場

## 3 支援の体制

- 誰でも取り組めるように「近江のキャベツ」の統一栽培暦を作成しています。
- 研修会や現地巡回により、栽培のサポートを行っています。
- 苗の育苗については、「底面給水育苗（次ページ参照）」で行えます。

現地研修

機械定植

## 4 経営収支

収量や市況によって変動しますが、10aあたり、収入：30万円、経費：21万円（労賃含まない）となり、所得は9万円ほどとなります。

＊詳細については、当課または各ＪＡの営農関係主務課までお問い合わせください。

**～おしらせ～**

当課ではFacebookページで、管内の農業・農村情報について発信しています。
https://www.facebook.com/facetoagri.o.n/　またはこちらのQRコード®からご覧ください。ぜひ、「いいね！」、「シェア」をお願いします。